



鱈小タイムズ

令和3年 3月10日
流山市立鱈ヶ崎小学校
全校児童 633名
臨時号

令和2年度学校評価結果について

12月に保護者対象の「鱈小をよくするための保護者アンケート」を行いました。1月には児童を対象としたアンケートも行い、それらの結果を基に2月には職員全員で今年度を振り返った自己評価を行いました。

調査結果を真摯にとらえ、その結果を活かし、課題を明確にし、次年度に向けよりよい教育実践ができるよう方策を立てていきます。

表は「そう思う」「おおむねそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」「わからない」は保護者の要望を受け、今年度より選択肢に追加)を表しています。各項目については、「そう思う」「おおむねそう思う」の割合が80%以上を「◎」60%から80%を「○」60%未満を「▲」と表しています。

【結果より】

保護者のアンケート結果はおおむね良い評価を頂きましたが、14項目中の13項目において数パーセントではありますが評価が下がったものがありました。これは、新型コロナウイルス感染症により、世の中全体が先の見えない不安な日々を送る中で、学校での様子を伝える機会が少なかったことにより保護者の皆様に不安要素与を与えてしまったことが大きな原因と考えています。3学期には時間指定制にて授業参観を行い、懇談会は学年ごとに曜日を変えて行いました。また、学習中の様子や行事の様子をホームページに掲載し、動画配信を行いました。どちらも好評を頂き、「学校での様子が見られてホッとした。」「開催して頂き有り難かった。」とのお声も頂くことができました。来年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の対策を取りながらの学校生活になることが予想されますが、その都度工夫しながら児童の様子をお伝えできればと考えています。

【意見から】

様々な視点でご指摘を頂き、大変参考になりました。全ての記述内容は、全職員が閲覧し、内容を共有すると共に、若年職員については保護者の目線に立った考えについて理解する良き機会となりました。(今年度はコロナ禍における学校の対応についての意見が多くありました。これらにつきましては、動画配信や学校学年だよりを活用するなど、積極的なアナウンスに心がけてまいります。)また、子どもへの指導に関わるご指摘については、管理職から職員に指導を行うと共に、今回の評価の結果やいただいたご意見を真摯に受け止め、学校全体で改善をめざして参ります。

ご指摘以外にもたくさんのお褒めのお言葉や励ましのお言葉も頂きました。先の見えないコロナ禍の不安の中、これらの言葉に、本校教職員は大きな自信と勇気を与えられました。ありがとうございました。今後はさらに、地域、学校評価委員会、鱈ヶ崎地区社会福祉協議会、地域学校協働本部事業等と連携をし、教育活動の向上を図っていきます。

なお、今回いただいたご意見につきましては、個人が特定される物を除き学校HPに掲載しております。

教育活動の向上は、学校のみでの力では、実現しません。保護者、地域の皆様と共に未来を担う子どもたちが、健やかにたくましく成長することをめざして参りたいと考えています。

職員自己評価及び保護者アンケート結果											
		評価項目・内容		そう思う	おおむね そう思う	あまりそう 思わない	そう思 わない	分からない	未提出 無回答	A+B	評価
				1	学校教育 目標から	☆思いやる子（心豊か）に育っている。	保護者	42%	51%	4%	1%
職員	19%	79%	2%	0%			0%	0%	98%	◎	
2	☆自ら学ぶ子（自ら考え行動する子）に育っている。	保護者	18%	52%		22%	5%	1%	2%	69%	○
職員		8%	79%	10%		0%	2%	0%	88%	◎	
3	☆たくましい子に育っている。	保護者	21%	59%		15%	1%	2%	3%	80%	◎
職員		15%	56%	25%		4%	0%	0%	71%	○	
4	学習活動から	☆教師は基礎的な力がつくよう分かりやすい授業を行ったり、対応をしたりしていると思いますか。	保護者	22%	59%	7%	1%	9%	2%	81%	◎
			職員	10%	83%	2%	2%	2%	0%	94%	◎
5	安全・安心な学校	☆学校は事故防止に心がけ、子ども達の安全を確保する努力をしていると思いますか。	保護者	29%	60%	4%	2%	4%	2%	88%	◎
			職員	50%	42%	8%	0%	0%	0%	92%	◎
6	信頼される学校	☆教職員は、子どものよさや気持ちを理解しようとしていると思いますか。	保護者	27%	56%	8%	2%	5%	2%	83%	◎
職員			21%	79%	0%	0%	0%	0%	100%	◎	
7		☆学習内容や子どもの様子が、学校だより（鱈小タイムズ）や学年だより、懇談会及びホームページなどで伝わっていると思いますか。	保護者	18%	55%	18%	5%	3%	2%	73%	○
職員			29%	56%	10%	0%	4%	0%	85%	◎	
8		☆学校は何かあった時に、すぐに対応していると思いますか。	保護者	27%	55%	6%	3%	6%	2%	83%	◎
職員			50%	48%	2%	0%	0%	0%	98%	◎	
9		☆学校はいじめについてなくすよう努力していますか。	保護者	15%	51%	10%	3%	19%	3%	65%	○
職員			56%	38%	2%	0%	4%	0%	94%	◎	
10		地域と共に生きる学校	☆学校は地域の人材や施設などを生かした教育活動をしていると思いますか。	保護者	20%	52%	11%	2%	11%	3%	72%
			職員	33%	54%	6%	0%	6%	0%	88%	◎
11	お子さんの様子から	☆お子さんは、楽しく学校に通っていますか。	保護者	51%	40%	5%	2%	0%	2%	91%	◎
職員			19%	79%	0%	0%	2%	0%	98%	◎	
12		☆お子さんは、学習の基本が習得できていますか。	保護者	30%	51%	12%	3%	1%	3%	81%	◎
職員			10%	79%	4%	0%	6%	0%	90%	◎	
13		☆お子さんは、友だちと仲良く生活していますか。	保護者	47%	45%	5%	0%	1%	2%	92%	◎
職員			33%	63%	2%	0%	2%	0%	96%	◎	
14		☆お子さんは、自分の気持ちや考えを言葉できちんと伝えられますか。	保護者	23%	53%	19%	3%	0%	2%	76%	○
職員			4%	58%	33%	0%	4%	0%	63%	○	

※80%以上を「◎」60%から80%を「○」60%未満を「▲」

※「分からない」及び「無回答・未提出」は今年度より設置

◎いじめについての項目が低いことが分かります。本校では6月と10月に「友だちとのかかわり」についてのアンケートを実施し、回収後には念のため全員と面接を行い、書かれた内容について聞き取りし、必要に応じて指導にあっております。また、経過を観察すると共に声かけや再調査を行っております。

今回のアンケート調査の結果を見ると、この「いじめ」項目について20%の保護者の方が「分からない」と回答されておりました。「学校の様子が伝わっているか」の項目も併せて考えると、今後は今以上に学校の広報活動に力を入れていく必要があると考えています。また、自分の子どもにはやや厳しい見方をされる保護者も多いようです。これも学校での頑張りをさらに伝えられる手立てを、講じていく必要を感じています。

地域の活用については、コロナ禍での活動になり、今年度は自粛した物が多くあります。今後は実施できる方法を模索しながら地域とのつながりを深めていこうと考えています。

（裏面に続く）

【児童アンケート結果】

	そう思う	ややそう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	無回答	A + B
Q1 学校はたのしいですか。	74%	20%	4%	1%	2%	94%
Q2 学校や教室（きょうしつ）は、いつもきれいに整理整頓（せいりせいとん）されていますか。	40%	45%	10%	2%	3%	85%
Q3 先生は、いっしょうけんめい勉強（べんきょう）を教えてくださいますか。	86%	10%	1%	0%	3%	96%
Q4 先生の授業（じゅぎょう）は、わかりやすいですか。	73%	21%	3%	0%	2%	95%
Q5 先生は、みなさん一人ひとりにあわせて勉強（べんきょう）を教えてくださいますか。	64%	27%	5%	1%	3%	91%
Q6 先生は、友達（ともだち）とのあいだでこまったことがおきたとき、よく話をきいてくれますか。	74%	18%	4%	1%	3%	91%
Q7 あなたは、家庭学習（かていがくしゅう）の習慣（しゅうかん）がついていますか。	49%	34%	12%	3%	2%	83%
Q8 あなたは、家の人や近所（きんじょ）の人、友だちにあいさつをしていますか。	57%	32%	6%	3%	3%	88%
Q9 あなたは、家で「はやねはやおき朝ごはん」などがきちんとできていますか。	40%	37%	14%	7%	3%	77%
Q10 あなたは、友だちをおもいやって、なかよく生活していますか。	71%	23%	3%	1%	2%	94%

◎朝食欠食児童が10名以上おり、早急な対応が必要です。学校だより等で朝食の大切さを周知してきましたが、引き続き保護者の皆様のご協力をお願い致します。

児童においては習い事等で忙しく、朝起きられない児童もいるようです。児童へも朝食の大切さや生活リズム、睡眠等の重要性を養護教諭や栄養教諭と協力しながら伝えていきます。

Q7からQ10の自分のことを問う質問では、学年が上がるにつれ自分自身の良さを素直に振り返ることができない傾向が見られます。成長に伴い、自分への見方が厳しくなっていくとも捉えられますが、自らを振り返ることで自信をつけていくような取り組みも進めたいと考えています。

あいさつに関しても高学年になるにつれ満足度が低くなっています。児童会等を活用しながら、児童の意識の改革が出来るよう進めてまいります。